



2021年3月号
No. 51
(春秋発行)

Homepage <https://www.yk-bunka.com> E-Mail yokokana.bunka@gmail.com

特集「金沢茶道会」



和室席



会議室席

金沢公会堂こけら落とし茶会(2019年2月20日)の様子



目次 行事報告 協会主催行事 (p 2)
 会員主催行事 (p 3、6、7)
特集「金沢茶道会」 (p 4 - 5)
 行事予定・会員状況 (p 8)



横浜検疫所検疫資料館の保存活動を展開

横浜金沢文化協会は、令和2年3月発行の会報「しおさい」49号の特集でお伝えしましたように、当協会の団体会員である「野口英世よこはま顕彰会」が取り組んでおります“横浜検疫所検疫資料館(旧一号停留所)の保存運動”を支援しています。

文化協会としては、検疫資料館は建物の建築史的価値が高く、文化財保護法に基づく登録有形文化財として国に登録されていること、また検疫史的に貴重な多数の資料が収蔵保存されていることから、これから先も、金沢区長浜の現在地で永久に保存され、将来にわたって有意義に利活用されるよう強く願っています。

ところが国の計画によりますと、令和4年度には長浜の地における全ての検疫業務が「みなとみらい21地区」に移転するとのことであり、検疫資料館の行く末が懸念される状況であります。

このため、協会および顕彰会では、検疫資料館の現在地保存の必要性をご理解・ご賛同いただける多くの皆様の熱意を形にし、その実現を確かなものにして行けるよう、国および横浜市に対して陳情活動(署名活動を含む)を始めており、現在その推進を積極的に図っています。



長浜ホールに隣接の横浜検疫所構内奥にある検疫資料館

その甲斐もあって、現状、徐々に国(厚生労働省)から前向きな検討の経過も聞こえるようになっていますが、まだまだ予断を許さない状況にあります。文化協会としては、今後も引き続き関係機関、団体との連携を密にして、検疫資料館の保存が確実なものとなり、その利活用の方向が確かなものとなるよう、会員の皆様をはじめ多くの方々のご尽力をいただきながら、全力で取り組んでまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。



文化協会広報活動を充実強化

令和3年1月4日(月)から15日(金)までの間、区役所1階エレベーターホール前の展示スペースにおいて、来庁された区民の皆様には協会の活動状況を紹介するパネル展示を行いました。これまで各種の企画展に参加して展示活動を行ってまいりましたが、協会が単独で区役所庁舎内で展示をするのは今回が初めてでした。

今回は協会の活動全体を説明するパネル、旧一号停留所(横浜検疫所検疫資料館)を次の世代に残すことの必要性を訴えるパネル、団体会員の金沢三曲会のステージでの演奏活動や小・中学校への和楽器出前教室を紹介するパネル3枚を中央に、協会主催の文化講演会、区民カルタ大会の記録写真などを両サイドに展示しました。またパネルの足元に会報などの持ち帰り資料を配備しました。来庁でたまたま展示をご覧いただいた多くの区民の皆様から思いがけず高い評価を頂戴するとともに資料も予想以上にお持ち帰りいただき、力強い手応えを感じました。

今回の経験を活かして、今後も文化協会および個人・団体会員の活動紹介等を積極的に実施し、多くの方々に当協会のことを知っていただけるよう、広報活動の充実強化に取り組んでまいります。



文化講演会「美の巨人岡倉天心」盛大に開催される!

令和2年12月6日(日)、金沢公会堂にて講師に元神奈川新聞社代表取締役専務で岡倉天心市民研究会事務局長の千葉信行氏を迎え、コロナ対策を行った上で講演会を開催。140名を超える方々に聴講いただきました。また、お茶に造詣が深い天心に因んで、先着50名様に呈茶を行う予定でしたが、茶菓子のみのお土産としました。

岡倉覚三(天心)(1863~1913)は、幕末から明治への転換期に開港場・横浜で生まれ、文部行政官として美術行政の基礎をつくり、横山大観・下村観山等を育て、近代日本画を創設しました。更に「茶の本」「東洋の理想」等の著作で日本と東洋を世界に発信した人物です。

良く準備されたレジメとスライドを使った天心の足跡を辿る千葉氏の熱の籠った講演に参加者は皆聞き入り、有意義な80分間となりました。
(坂直孝)



「活動紹介パネル展」に参加

区民活動センター主催の令和2年度「活動紹介パネル展」が、11月2日(月)~21日(土)の全期間を3期に分けて、区民ギャラリーで開催されました。

当協会は第2期の11月8日(日)~14日(土)の間、他の展示者と並んで壁面に掲示のパネルで協会の活動内容、会員特典などを紹介。また、中央の机には持ち帰り資料として会報「しおさい」「文化講演会チラシ」などを配置して区民へのPRを図りました。

全3期の中では、当協会の団体会員「横浜金沢沓が「伴」協会」「琴アソブグル金沢桐韻会」「金沢茶道会」「野口英世よこはま顕彰会」「金沢三曲会」も活動紹介展示を行いました。



知足山 龍華寺

富岡八幡宮
徳祿八幡宮

横浜パンの家
SINCE 1996

赤ひげ小川笙船法要会

皆様に愛されて創業71周年!!
“おいしい和菓子の店”
御菓子司 横浜 紅谷
京急富岡駅前本店 TEL/FAX 772-3340
京急能見台駅前支店 TEL/FAX 370-8618

白山
東光禪寺

金沢区書道協会 小品展

2020年8月30日(日)～9月5日(土)、区役所2階区民活動センターのギャラリーにて小品展を開催。今回はコロナ禍における展示会の方法を一から模索することになりました。規模を縮小する・当番スタッフを置かない(無人会場)・芳名帳ではなく「カード」記入とする・・・等々、初めての試みばかりでした。結果、小規模ながらもバラエティ豊かな作品を展示。区内高校生の参加もあり、観覧者から「感激した」「見応えがあった」等のメッセージをいただき、「やってよかった」と会員一同満足しています。

(千葉昌子)



第6回民謡のつどい 金沢民謡協会

新型コロナ禍の中、三役や会主で開催の可否を熟考、対策をしっかりと実施した上で、2020年10月4日(日)に金沢公会堂で金沢民謡協会の第6回民謡のつどいを開催。

プログラムは会員のみでの発表で、ほぼ無観客としました。例年は全員での「花笠音頭」の合唱でスタートしますが、今回はすべての合唱を取りやめて、個人の唄の発表のみとしました。また三味線等の演奏者もディスタンスを保っての立ち位置としました。会場には民謡12支部が集まり、70曲あまりの発表となりました。

春からのコロナ禍で5月の「おさらい会」が中止となり、発表の場が一つ無くなっていましたので、「民謡のつどい」が実施出来たことをみんなで喜び合いました。

来年は「おさらい会」「民謡のつどい」共に開催できることを祈るばかりです。

(阿部
きみえ)



金沢区日本舞踊連盟公演

2020年11月1日(日)、金沢公会堂にて25回目の金沢区日本舞踊連盟公演を迎えました。伝統ある日本舞踊を地元の皆様楽しんで頂きたい一心で夏の猛暑とコロナ禍の中で出演者一同稽古に励みました。当日は大道具、松竹衣装、かつらと本格的な歌舞伎同様の舞台構成で舞を演じ、大勢の方々にご高覧頂き、好評のうちに終了出来ました。

皆様からの温かい拍手のもと、開催出来ました事は嬉しく励みになりました。

今後も伝統文化の継承と人材育成に精進していきたいと思えます。(花柳徳蓮)



箏演奏会 琴アンサンブル金沢桐韻会

2020年11月15日(日)、琴アンサンブル金沢桐韻会では金沢産業振興センターホールで「琴演奏会」を開催。

今回はコロナ禍で桁違いの事前準備に押しつぶされそうになりながら、当日を迎えました。会場には非接触の体温計と消毒液を置き、すべてのドアと窓を開け、扇風機を対角に置いて換気。客席は一つ置き千鳥格子に配置、前2列は着席不可にしました。案内状も出さなかったのですが、天気に恵まれ、思いがけなくお客様が多数あり、感謝の念であふれました。

ステージには毛氈なし、演奏は立奏台を使って椅子で、入れ替わりは暗転処理でした。密を避けられなかった最後の曲「小鳥の歌」だけはマスクをつけての演奏でした。

(佐野史瑞子)



「吹奏楽の日」コンサート 金沢吹奏楽団

2020年11月22日(日)、金沢区文化祭参加行事として公会堂にて2年目を迎えた「吹奏楽の日」コンサートを開催。今回は、ウインドアンサンブルドルチェ、プラストファンクラブ、そして金沢吹奏楽団の3団体によるリレー・コンサートとなりました。

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、十分な準備と万全の対策を取ることで、お陰様で無事に開催することができました。ご来場いただいたお客様をはじめ、開催に向けてご尽力いただきました皆様に謹んで感謝申し上げます。

当日の演奏曲目は、①アルセナール、②吹奏楽のための第1組曲、③青春の輝き、でした。(寺田早苗)



金沢三曲会 「和楽器出前教室」4校実施

金沢三曲会では毎年区内の小中学校へ楽器を持参し、和楽器体験授業のお手伝いをしています。コロナ禍の2020年度は、11・12月に並木第一小、並木中央小、大道小、瀬ヶ崎小の4校で実施しました。手洗い、消毒、マスクと感染防止対策を徹底し、今回は楽器に口をつける尺八は避け、体験はお箏とお三味線だけでした。でも、皆さん目を輝かせて夢中で取り組みました。

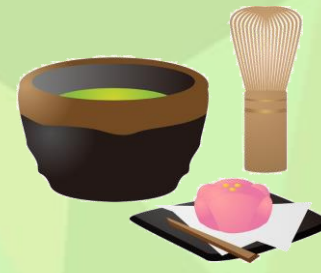
「お箏はメロディーを弾けて楽しかった」「お三味線は両手を使って難しい」など感想を聞かせてくれました。

もっと沢山の子ども達が笑顔で楽しく体験できる日が来るよう願っています。

(佐野史瑞子)



金沢茶道会



金沢茶道会は昭和55年5月に設立されました。会員所属流派は、裏千家、表千家、江戸千家です。地域における和の伝統文化の普及に努めております。

三溪園鶴翔閣 金沢産業振興センター 鎌倉建長寺



横浜ポートヒルライオンズクラブ茶会。平成6年に第1回を金沢産業振興センター体育館で始めた茶会も、11回目から三溪園鶴翔閣に移り、令和3年5月9日(日)の27回目は鎌倉建長寺で行います。

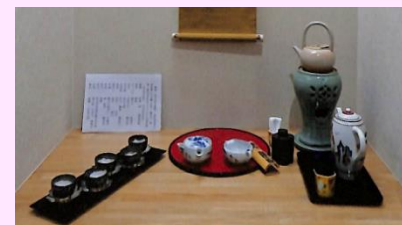


茶碗や茶入を収納する袋(しふく)の綴じ紐の結び方を楽しみます。結び方には、梅・桜・藤・桔梗などの花、蜻蛉、鶴などがあります。

茶道具の花結び



金沢区役所 展示スペース①



茶箱(携帯用の茶道具入れ)とその収納道具などの道具一式

煎茶を入れるための道具一式

茶道具の設え



表千家流



裏千家流

釜で湯を沸かすための炭

金沢区役所 展示スペース②

湯を沸かす炉は2種類。5~10月に使われるものを「風炉」、11~4月に使われるものを「炉」と言います。炉に用いる炭(くぬぎ材)には使い道によって様々な寸法が決められており、寸法ごとに名称が定まっています。今回は11~4月の「炉」に用いる炭を展示しました。



20回目の今年は、6月12日(土)・13日(日)に開催。

あじさい祭 八景島シーパラダイス 客船ターミナル



金沢区民文化祭 秋季茶会 金沢地区センター



旧川合玉堂別邸野点

平成18年から5月の第1土曜日に開催。300人のお客様に呈茶をいたします。



横浜金沢文化協会 文化講演会

「美の巨人岡倉天心」(令和2年12月)

天心に因んでお茶とお菓子でのおもてなしの準備をしておりましたが、コロナ禍でお菓子のみの進呈になりました。



呈茶は中止しました。先着50名様にはお菓子を進呈します。

旧伊藤博文金沢別邸

11回目のお茶会は、新型コロナウイルス感染拡大防止につとめ、一席9名のお客様をお迎えしました。



金沢区民活動センター ゆめかもん展示ケース



裏千家

盛夏の茶道具



表千家、江戸千家

金沢公会堂の和室にて、令和元年6月から毎月1回を目標に呈茶(11時~15時)を実施しています。問合せ▶金沢茶道会 045-782-9722



ミュージズの森 初のオンラインコンサートに挑戦!

金沢公会堂での2020年5月のコンサートがコロナ禍で中止となり、一同一度は落胆。年間全イベント中止だとスタッフと音楽家達の気力や体力に影響すると考え、何としてでも“1時間の有料演奏”を作るという事を決意し、9月にビデオ共有サービスVimeoにて有料放映をすることが出来ました。ビデオ会議サービスZOOMで練習したカンツォーネ名作5曲、オペラ「蝶々夫人」より5曲、ソリストの器楽演奏を足して、全14曲。ピアノ伴奏録画を全員に送り、各個人で自分の演目を撮影し、私“しもぎき響子”が編集しました。空間の共有ができ、インターネット利用のオンラインも面白い体験でした。(しもぎき響子)



ビデオの中で歌う
ピンカートン(富澤祥行さん)
と蝶々夫人(筆者)

野口英世よこはま顕彰会「講演とシンポジウム、パネル展」・・・報道機関も注目

2020年10月17日(土)、長浜ホールにおいて野口英世も関係した明治の検疫遺産「一号停留所(現・検疫資料館)」の保存を訴える催しをコロナ禍で参加人数を制限して開催。最初の講演「感染症の過去・現在・未来」を北里大学の林俊治教授(微生物学)にお願いしました。シンポジウムでは「検疫資料館の価値」について、吉田鋼市氏(横浜国立大学名誉教授)、志澤政勝氏(前横浜みなと博物館長)、左奈田恵美子氏(旧長浜検疫所元官舎長のお孫さん)、中村澄夫氏(理学博士、神奈川歯科大学生物医学名誉教授、当顕彰会副理事長)、田中常義氏(当顕彰会理事長)からそれぞれ語っていただき、質疑応答も行いました。また、ホワイエでは関連のパネルを展示しました。さらに金沢区議員団からの賛同もいただき、保存要望の署名を来場の皆様にお願いしました。(平山次清)



講演とシンポジウム会場



ホワイエに展示されたパネル

らしく並木 講演会『感染症の過去・現在・未来』

林俊治先生(北里大学教授・微生物学)による講演『感染症の過去・現在・未来』を2020年11月28日(土)、金沢スポーツセンター研修室にて開催しました。趣味の医療切手や声色も交えながら、「歴史の変わり目には感染症蔓延があった」「コロナ禍をどう考えるか」など、非常にわかりやすいお話しで、参加された介護関係の方にも有意義なもので好評でした。

コロナ禍による人数制限があったので、約40m離れた「オフィスかなざわ」においても映像を流し、より多くの方に聴講いただきました。また講演に使用されたスライドを印刷し、資料として配布しました。

そのほか、関連して野口英世よこはま顕彰会及び横浜金沢文化協会による「検疫資料館保存要望の署名」もお願いしました。(平山次清)



主会場(研修室)の様子



遠隔会場での映像受信状況

三本コーヒージャップ
八景駅前から文庫駅前のすずらん通りに
移転しました

鹿島地所株式会社

NPO法人
横浜金沢文化協会

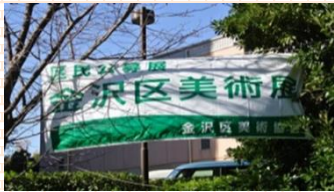
医療法人社団 景翠会
金沢病院

学校法人新栄学園 認定こども園
金沢白百合幼稚園

Bakery House AOKI

「金沢区民公募展」を開催

2020年11月19日(木)~24日(火)、金沢区美術協会は能見台地区センターにおいて第12回目の公募展を開催。美術協会の基本理念「地域に貢献」「金沢区美術絵画の振興に寄与」に基づき、今回から「金沢区民公募展」と改称。区民の多くに参加いただくために初めてのグループ展示を企画し、絵画グループにも呼び掛けを行いました。その結果、9グループが参加。出展は、会員83点、一般94点の計177点と盛大な美術展となりました。コロナ禍で開催も懸念されましたが、マスク・検温・消毒の徹底、そして密を避けるための入場のコントロール(待機札を30枚用意)で、無事に終了することができました。コロナの影響を心配しましたが、来場者も1145人の多数を記録しました。来年も能見台地区センターの広い会場が使用でき、皆様により身近な美術展にしてゆきます。又のご来場をお待ちしています。(大滝昭平)



美術協会は「見る楽しみ・描く楽しみ・発表する喜び」に加え、「会員相互の連帯」を求めて活動してゆきます。相互にもっと知り合い、絵を通して仲間の輪がひろがっていくことも楽しみだと考えています。皆様にもお声をかけて頂きたいと思っています。(大滝昭平)

第12回 金沢区美術協会展 (会員展)

2021年1月28日(木)~2月6日(土)、金沢区総合庁舎2階の金沢公会堂多目的室と区民活動センター区民ギャラリーの2会場にて金沢区美術協会展(会員展)を開催。今回は開催を目前にしてコロナの緊急事態宣言が県下に再発令。密を避けるため受付などの体制を見直し、無事に開催することができました。皆様のご協力にお礼方々ご報告申し上げます。会員展はこれまで形を変えながら12回を数えますが、今回はお膝元の総合庁舎内での開催としました。スペース確保のため、2会場に分かれましたが、66点と多数の出展ができました。コロナのため記帳での推定となりますが、600人程度のご来客でした。



多目的室での展示



区民ギャラリーでの展示

美術協会展(会員展)を開催。今回は開催を目前にしてコロナの緊急事態宣言が県下に再発令。密を避けるため受付などの体制を見直し、無事に開催することができました。皆様のご協力にお礼方々ご報告申し上げます。会員展はこれまで形を変えながら12回を数えますが、今回はお膝元の総合庁舎内での開催としました。スペース確保のため、2会場に分かれましたが、66点と多数の出展ができました。コロナのため記帳での推定となりますが、600人程度のご来客でした。

猛暑の龍華寺で「語り 一篠笛の調べと共に」

2020年8月30日(日)、銀河鉄道の会(橘 有美会員が中心となり、毎回新メンバーで構成)が第6回目の朗読会を龍華寺において開催。コロナのため6月からの延期で、会場も広い本堂へ移し、客席を50席と通常から半減。猛暑の中、空調がないため窓は全開し、扇風機6台をフル稼働するも、外は34.8℃。風が吹いてくれることを祈りました。すると、なんと神風ならぬ仏風が吹いたのです。一人として暑いという苦情もなく、風に救われました。今回は演劇出身の2人を迎え、篠笛の音と共にドラマティックな語りを3人で。浅田次郎・藤沢周平・岡本かの子の1人語り、宮沢賢治の方言入りを2人の群読で披露。篠笛の音色が涼やかだったとお声が……。龍華寺さんの全面的なご協力と無事に終えられたことに感謝。来場者から、「こんなコロナ期によく開催してくれました」と文化的な事に飢えていた方々から大変喜ばれました。チャリティ公演でしたので医療機関へ参加費を寄附させて頂きました。(橘 有美)



| 作品名 | 作家 | 出演者 |
|------------|--------|--------------|
| 奉納曲「ふるさとの」 | 古藤佳三作曲 | 深澤早百合 |
| 「雛の花」 | 浅田次郎 | 真崎 艶子 |
| 「雪明り」 | 藤沢周平 | 橘 有美 |
| ～休 題～ | | |
| 「千灯路」 | 鯉沼廣行作曲 | 深澤早百合 |
| 「鯉 魚」 | 岡本かの子 | 増田 美穂 (賛助出演) |
| 「虎十公園林」 | 宮沢賢治 | 真崎艶子、橘 有美 |

朗読「たちばな」発表会

2020年10月25日(日)、金沢公会堂多目的室において朗読「たちばな」(橘 有美会員が主宰)の第9回発表会が開催されました。会場の収容人数は100%の100名に戻っていましたが、コロナ対策で70名の予約制としました。また、鮮明に見えませんが安全第一でステージと客席の間にビニールシールドを設定しました。当日は来客数を心配しましたが、満席となりました。

この会では主に近代文学を学んでいることから、今回は、泉鏡花・太宰・三島、翻訳物は八雲・O.ヘンリーの作品、友情出演の男性は漱石の洒落な作品と、全9作品を朗読。来場者の中から、「有名な作家ばかりだが知らない作品を聴くことが出来て嬉しかった」「谷川俊太郎の詩「平和」で締め、全体の構成もよかった」とお褒めを頂きました。真剣に聴いてくださる皆様には有難く、コロナで多くの催しが中止になっている中、お聴きになりたい方がたくさんいらっしゃるのだなと強く感じました。(橘 有美)



真剣に聴いてくださる皆様には有難く、コロナで多くの催しが中止になっている中、お聴きになりたい方がたくさんいらっしゃるのだなと強く感じました。(橘 有美)

文化協会行事予定(令和3年4月~9月 日程順)

多くの行事は開催日が近づくと文化協会のホームページに詳細内容が掲載されます。また、前回の様子などもあります。

| 行 事 名 | 予 定 日 | 実 施 場 所 | 問 合 先 |
|------------------------|-----------------|-------------|---------------|
| 金沢ふれあい文化祭 | 4月11日(日) | 金沢公会堂 | 045-785-3506 |
| 金沢民謡協会 おさらい会 | 5月9日(日) | ヴェルクよこすかホール | 045-785-3506 |
| 金沢茶道会 緑の大茶会 | 5月9日(日) | 鎌倉建長寺 | 045-782-9722 |
| 阿部きみえ民謡コンサート | 5月15日(土) | 金沢公会堂 | 045-788-7890 |
| 金沢三曲会 研究会 | 6月12日(土) | 金沢公会堂 | 045-781-1483 |
| 金沢茶道会 あじさい祭茶会 | 6月12日(土)・13日(日) | 八景島客船ターミナル | 045-782-9722 |
| 第2回金沢区朗読公演会 | 6月19日(土) | 金沢公会堂 | 045-785-4757 |
| 金沢吹奏楽団 第50回定期演奏会 | 6月20日(日) | 金沢公会堂 | 090-7189-5298 |
| 野口英世よこはま顕彰会 パネル展 | 6月20日(日)~26日(土) | 金沢区民ギャラリー | 045-775-1612 |
| 畠山重保公顕彰墓参会 | 6月22日(火) | 畠山重保公廟所 | 045-782-2858 |
| 野口英世よこはま顕彰会 夏休み子ども体験教室 | 8月7日(土) | 長浜ホール | 045-775-1612 |
| 金沢区書道協会 小品展 | 8月22日(日)~28日(土) | 金沢区民ギャラリー | 045-831-9715 |
| 横浜金沢文化協会 パネル展 | 9月12日(日)~18日(土) | 金沢区民ギャラリー | 045-775-1612 |

新型コロナの影響で、上記の行事は中止や延期の可能性があります。ご参加の場合は問合先などに事前のご確認をお願い致します。

会員状況 新会員/新賛助会員は令和2年度下期加入分 (令和3年2月末現在)

| 会 員 | 個 人 | 新会員: | 団 体 | 新会員: |
|--------------|----------------------|--|--------------------------|--|
| 149 | 122 | 木戸 光、志村瑞雄、越水克子 (6) 大塚古真子、赤澤幹子、佐藤はる江 | 27 | 金沢区ダンススポーツ協会 (2) アンサンブル Alice |
| 賛助会員 18 | 法人 17 | 一般社団法人 金沢区三師会 医療法人社団 景翠会 金沢病院グループ 医療法人社団 湘南太陽会 鳥居泌尿器科・内科 御菓子司 横浜紅谷 植周造園株式会社 赤ひげ小川笙船法要会 三本コーヒー 金沢文庫店 学校法人 新栄学園 認定こども園 金沢白百合幼稚園 | 個人 1 | 白山 東光禅寺 有限会社 オッターブルー 有限会社 清水薬局 竹富山 禅林寺 株式会社 はまかぜ新聞社 知足山 龍華寺* 富岡八幡宮* 有限会社 横浜パンの家* 鹿島地所株式会社* |
| * : 新賛助会員(5) | | | | |
| 顧問 14 | 松本 純 篠原 豪 松崎 淳 | 大村 悠 黒川 勝 高橋 徳美 | 竹野内 猛 谷田部 孝一 小幡 正雄 | 木村 久義 片岡 順一 高井 祿郎 |
| | | | | 佐野 和史 鈴木 節夫 |

会報編集委員

| | |
|-----|--|
| 編集長 | 金間誠一 |
| 委員 | 阿部きみえ 阿部孝三 内園一廣 斉木美子 塚本眞砂子 千葉昌子 福島富士子 渡辺淳子 |

編集後記

これまでの会報では発行ごとに編集方針と中間調整で編集委員会を2回開催し、原稿依頼・ゲラ確認で運営委員会の場を2回利用してきました。今回は、コロナ対策で編集委員会・運営委員会ともに開催なしの方針で、電子メールと郵便の活用で発行作業を進めてきました。出来映えはいかがでしょうか。(金間誠一)